



萩市
HAGI

議会だより

2009. 1. 15 No.11

編集/議会だより編集委員会 発行/萩市議会
〒758-8555 萩市江向510 TEL 0838-25-3131



12

月定例会

恵比須講 (越ヶ浜)

一般質問

..... 3~10

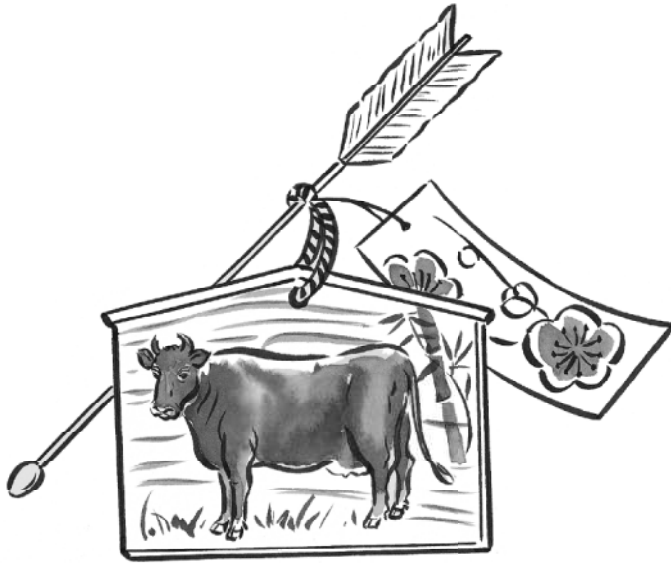
萩市観光議員連盟「要望書」..... 10

常任委員会審査の概要 12~13

P

2月21日~3月22日 萩 椿 ま つ り





賀春



萩市議会議長
青木 賢次

市民の皆様、明けましておめでとうございませう。本年も健やかで希望に満ちた初春をお迎えになられたことと、謹んでお慶び申し上げます。市民の皆様には、平素より市政に対しまして暖かいご理解と多大なご協力を賜っておりますこと、あらためて厚くお礼申し上げます。

お陰をもちまして昨年も萩市発展への基盤を着実に固めてまいることができました。新年を迎え、ここに更なる躍進を期して、清新の気のみなぎるのを覚えます。

ご承知のとおり、近年の社会経済情勢は混乱を極めております。少子高齢化・国際化・情報化の急速な進行とともに、金融危機、雇用問題から環境問題、温暖化など地球規模で大きな不安をもたらしております。このような時、萩市も例外なく、克服すべき多くの課題を抱え、行政需要はその量・質とも益々複雑多様化するなど、まことに厳しいものがあります。

このような中、昨年は明るい話題も多くありました。

全国的に観光客の減少が言われる中、十年ぶりに百五十万人を超えましたことは、観光萩市

として大変希望の持てるものでありました。萩市のリサイクル推進の拠点として「エコプラザ・萩」の完成、保健福祉サービスの拠点としての福祉複合施設「おとずれ」の完成など高齢者や市民生活に不可欠な施設の完成をみましました。

また、平成二十三年の山口国体までの全線開通を目指す萩・三隅道路のうち「明石く三隅間」が開通いたしました。これは萩東道路・山陰自動車道に繋がるものと大きな期待が寄せられております。

「長州砲・萩里帰り」など多くの明治維新百四十年記念事業を開催し、市民の方にはもちろんのこと広く内外に萩市と明治維新の関わりを示すことができました。

九月には世界遺産の暫定リストに萩反射炉、松下村塾等が追加登録されました。

十一月には思いがけない話題が飛び込んできました。十一月一回目を迎えた「萩マグロトーナメント」で松方弘樹さんが三百キロを超えるマグロを釣り上げられました。これは、萩市や見島沖の好漁場を広く全国に知らしめただけでなく漁業資源の保護や秩序維持についてもアピールできたものと思えます。

本年は丑年「牛歩の如く」一歩ずつ着実な歩みとなるよう願うものです。

私も決議機関といたしましても、より豊かで住みよい萩市を目指して、今後さらに創意工夫を重ね、全ての市民の皆様方の信託とご期待に応えられるよう決意を新たにしているところです。

市民の皆様には、議会に対しまして本年も相変わらぬご理解・ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

一般質問



木村 靖枝
(新志クラブ)

新規就農・新規漁業者への居住支援 (担い手対策)

【問】十一月二十三日から二十五日まで行なわれた、第十一回萩マグロトーナメントに話題が沸騰しました。資源を保護し増大をはかり、マグロ一本釣新規漁業者が誕生することを願うものです。新規に農漁業に従事を希望される方が、定住するための住宅確保に困惑される話を聞きます。新規就農・漁業者へのオールラウンドでの相談体制を。

【答】市外からの新規就業者の受入れを行なっていく上で住宅の確保は大きな課題です。福栄・むつみ・田万川地域では、新規就農者用住宅を整備し

受入れを促進してきました。漁業では、大島に新規漁業者や漁業後継者のための市営住宅を整備しています。新規就業者の居住環境の整備については、今後も市営住宅や空家利用など幅広く取り組んでいきます。相談体制については、農業・漁業ともに総合的な相談窓口を設置しています。



マイバッグコンテスト風景

地球温暖化防止の市民への啓発 (マイバッグ持参)

【問】いま、時代のキーワードは地球温暖化防止です。地球温暖化による人間社会へのさまざまな悪影響が報告されています。県が来年度の四月一日から、レジ袋を有料にする

【答】いま、時代のキーワードは地球温暖化防止です。地球温暖化による人間社会へのさまざまな悪影響が報告されています。県が来年度の四月一日から、レジ袋を有料にする

【問】百年に一度のリセッションの入口に立っています。自治体も生き残りをかけた闘いに直面しています。事務事業の事前・事中・事後評価システムについて

【答】萩市では平成十四年度にマイバッグ持参推進運動協力店制度を立ち上げ、協力店、消費者団体と毎年対話集会を行う等レジ袋の削減を積極的に進めています。この度の県下一斉のレジ袋有料化の試みは、有料化に賛同する事業者と消費者団体、行政の三者が協定を締結する形で実施され、協定は来年一月中旬に県庁で行われます。萩市では五事業者が参加の意向を示されています。現在、それ以外の事業者にも積極的に協定に参加するよう呼びかけています。



行政評価システムについて視察 (松戸市)

【問】景況感が悪化しています。年末年始へおけて商工業者の皆さんへの資金ぐりサポートが必要ではないでしょうか。経済産業省が、十月末に開始した中小企業の資金ぐりを支援するための緊急保証制度があります。

【答】この度の緊急保証制度は商工業者の資金繰りに大きな役割を果たすことと思われ、十二月一日の市報に掲載し周知を図るとともに、市の公式ホームページにも掲載しました。今後も引き続きこの制度の周知を図るとともに、金融機関とも連携し融資が円滑に進むよう対応していきます。なお、融資限度額一千万円で、この保証料を市が全額補助する市の中小企業者に対する長期経営安定資金金融繰りの支援をしていきます。

商工業者の皆さんの資金ぐりの支援を

【問】行政が行う公的サービスの評価することは難しい面もありますが、事務事業と施策の評価に取り組んでいます。事務事業については、財政課において評価シートを用いて負担金等、公の施設、扶助費について評価し、予算編成に活用しています。施策については、企画課において将来展望の政策体系に沿って事務事業を整理し、評価をしています。職員の意識改革が図られるなどの効果は得られていますが、今後更に研究をしていきたいと考えています。

【答】行政が行う公的サービスを評価することは難しい面もありますが、事務事業と施策の評価に取り組んでいます。事務事業については、財政課において評価シートを用いて負担金等、公の施設、扶助費について評価し、予算編成に活用しています。施策については、企画課において将来展望の政策体系に沿って事務事業を整理し、評価をしています。職員の意識改革が図られるなどの効果は得られていますが、今後更に研究をしていきたいと考えています。



西元 勇
(誠風会)

農業後継者への支援について

これから新規就農希望者への技術面と生活面の両面にわたる支援策として、萩市独自の指導者制度を設置される考えはないかお尋ねします。

【答】農業後継者が減少する中で、新規就農者の受入れは重要な施策として取り組んでいます。市は二年間の研修費や指導者の確保を行うなど定着に向けて支援をしており、現在五名が就農に向けて研修しています。営農や生活面についての支援は、各総合事務所や県職員が就農促進会議を開催する中で、個々の

問題解決を図っているところですが、担い手不足による耕作放棄地対策のためにも重要であり、若者の就農について幅広く支援していきます。



ヤブに覆われたミヤマウメモドキ群生林

県自然記念物ミヤマウメモドキ群落の保護について

【問】阿武町福田下に自生する県指定自然記念物ミヤマウメモドキは、県内で唯一の群落といわれています。しかし、良好な環境とは言い難く、雑木におおわれて枝枯れが進んでいます。こうした湿地帯をはじめ指定木の保護が急がれます。山間部は、目が届きにくく、ボランティア監視員の設置ができないか市長の所見をお尋ねします。

【答】こういった植物の群落があるという認識がありません。行政区は阿武町で、その中に萩市有林があり、その一部が指定されています。田床山の湿原にサギ草が沢山自生していましたが、愛好者の格好の標的となり失われました。群落を整備して明確に表示し保護するか、現状のままひっそりと保護していくか、現地を確認した後に検討します。旧須佐町有林でもあり、須佐地域に十二名の市有林監視員をおいているので、この中で管理できないか検討します。



諸岡 皓二
(無所属)

山口福祉文化大学 今後の運営面について

【問】血税40億円を投資した大規模な学であり、存続するためには、学生の募集が最大の課題です。資格取得で提携していた山口福祉専門学校が、生徒不足で閉校となり、マイナス要因が発生

し、運営面において厳しい状況となりました。支援企業の株主見ホールディングスの株価が十二月五日現在、18円となり、筆頭株主である株式会社SFCG(旧商工ファンド)は、数々の問題を起こしている企業ですが、今後の運営面においてどのように対応されるのでしょうか。

【答】大学は、学生募集委員会を設け、職員、教授が丸ごと一般学生のほか児童養護施設、スポーツ学生、留学生の募集に取り組みられています。施設開放など地域貢献、充実した奨学金制度など色々努力されています。

また、初めて私立学校振興共済事業団から補助金も交付される見込みです。支援企業である塩見ホールディングスは、厳しい経済情勢の中、大学維持のため努力されています。市も市民の皆さんと共に入学者が増えるよう努力していきます。

市税収納率が県下最下位となったことへの対応策は

【問】平成十九年度の市税収納率が86.9%で十三市中最下位となりました。市長は旧大蔵省出身者として市税収納率アップにどのような施策で対応されるのか、また、徴収面強化において、他課との連携をどのように指導されるのか、併せてお尋ねします。

【答】合併を機に税務課徴収室を収納課とし、他課と連携しつつ収納業務を一元化し、徴収体制の強化を図ったところです。具体的業務では、不動産・債権・動産の差し押さえの強化と、その処分方法としてインターネッ

ット公売の実施、夜間徴収や収納窓口業務の時間延長など市民サービスの向上を図っています。職員の徴収技術の向上を図るため、自治大学校への職員派遣を行うなど、収納率の向上に向けて努力をしています。



収納課



井関 稔
(誠風会)

学校給食

共同調理場の整備について

【問】学校給食において一番心配されるのは食中毒です。それを防ぐための対応の一つに調理施設の衛生管理システムがあり施設設備の近代化が必要ですが、

須佐・田万川の共同調理場が育英小学校に併設されると仄聞しています。現在のウエット方式からドライ方式に移行して、児童・生徒の食の安全の観点から早期整備についてお尋ねします。

【答】児童生徒に安全な学校給食を提供するため、文部科学省が制定した「学校給食衛生管理の基準」に基づき、食中毒防止のため、ウエットシステムの調理場においてもドライ運用での調理作業により衛生管理の確保を図っています。須佐および田万川の調理場の統合による整備は、さまざまなメリットがある

と考えます。他の老朽化した調理場の整備や、急務となっている校舎および屋体の耐震化事業と併せて、整備を検討していきます。



田万川学校給食共同調理場

地域経済の活性化について

【問】世界の経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融不安が広がり、悪化した日本もその影響を受け危機的状況です。県においても来年度の予算編成で、四〇〇億円の財源不足が報じられており、萩市への財政影響も深刻なところですが、合併特例債で、インフラ整備を積極的に進めて、雇用の創出を図る考えはないかお尋ねします。

【答】雇用の創出を図るため、企業誘致や市内企業の事業拡大等に対して固定資産税の免除、雇用奨励金や企業立地促進奨励金制度等を設けています。現在二〜三の企業から企業の進出や事業拡大について話を伺っており、雇用の場の確保に繋がることを期待しているところです。合併特例債の活用については、地方債残高に伴う毎年の償還金の多さが市の財政硬直化の一因であることから、必要な事業量を確保しつつ、適正規模の地方債発行に努めていきます。



宮内 欣二
(日本共産党)

福祉医療の無料制度の存続を求めるときではないか

【問】福祉医療は重度障害者・母子・乳幼児の医療費を無料にする制度です。県は財源不足を理由に来年度から一部負担金を導入するとしています。無料制度を継続するように県に求めるべきではないですか。逆に子どもの医療費助成を拡大すべき

ではありませんか。制度改正などで浮いた財源でできるのではないですか。

【答】福祉医療制度を将来にわたり持続可能な制度として、また、医療保険制度の補完という制度の基本を維持することを考えると、一部負担金導入の理念は理解できませんが、導入時期については、現下の経済状況を考えると再考を求めたいと考えます。乳幼児医療費助成制度については、平成十六年度から対象児童を小学校就学前までに拡大されるなど、逐次制度の拡充が行われてきました。今日の厳しい財政状況を考えると、市単独での拡大は難しいと考えます。



元気な子ども達

子どもへの国保証は無条件に出すべきではないか

【問】昨年六月の質問で取上げた子どもへの国保証発行の取扱いはどうなっていますか。家庭の経済状況で差別してはなりません。国が動き出す中で堂々と発行できるのでしょうか。

医療費を全額支払わねばならない資格証明書そのものの発行をやめる自治体(広島市、さいたま市など)が増えているなか萩市もやめてはどうですか。

【答】法律では資格証明書の交付が義務付けられています。しかし、萩市では子どもが医療を受けられないということが無いように運用面において努力をしています。資格証明書の主旨は納付相談の場をつくりたいというところであり、実態調査等を行った結果、現在は資格証明書を交付している世帯で子どもの居る世帯はありません。今後、中学生以下については一律に保険証が交付されるような法の改正が行われるので、それを待つて対処していきます。



岡 通夫
(政 和 会)

中山間地域農業の重要性と、支える処方箋について

【問】二十一世紀は食糧競争奪戦の時代を予感します。集落営農の組織力・地域力を結集し拓く農業の処方箋は旧態依然の重労働や作業量の多い畦畔管理の改善。加えて湿害と旱魃を回避し、土地構造の改良により、作物の安定生産対策の地下灌漑システムの導入です。また人為的に難しい野猿対策です。市長の考え、対応策をお尋ねします。

【答】農業労働では、畦畔の草刈が最も重労働です。シバによる省力化は、雑草を完全に除去した状態でないと効果が出ません。今後の課題として検討していきます。水田の畑地化には、地下灌漑システムが注目されています。試験ほ場等の結果を見極めた上で事業導入を検討します。サルによる被害は増加しており、農作物被害や営農意欲の

減退など大きな問題となっています。捕獲・ワナ・追い払い・防護柵などあらゆる手段で被害防止対策を行っていきます。



地下灌漑システム

農業生産コスト削減は土を知ることから

【問】農業経営の安定は常に経済効果を求めるところにあると思います。その基本は「土を知る」ことから始まります。土壌診断による適正な生産資材の使用とこれ等の普及指導体制の充実が大事だと思います。また、土を知る前に堆肥供給体制の充実を図り肥沃な土づくりを基本とすることが食の安心・安全の原点です。市長の考えをお尋ねします。

【答】堆肥等を施用することは、土壌の物理性を向上させ作物を健全に生育させるために重要で化学肥料の使用を抑え環境にも配慮した農法です。土壌分析は、必要があれば県において実施が可能です。食の安全・安心を基本とした堆肥の投入は有効ですが、市内の堆肥製造施設からの堆肥は、農産物価格の低迷や堆肥価格の関係で十分農地に投入されていない状況です。農家への普及とあわせ価格の低減、計画的な牛の増頭対策など努力していきます。



守 永 忠 世
(無 所 属)

小水力発電装置について

【問】流水利用型小水力発電については、萩市の中山間(旧阿武郡)地域の農業用水路を利用でき、しかも旧市内においても河川等を利用し、一般家庭でも暮らしに必要な電力を安価で得ることができるとのことです。

小水力発電の実用化は、工口においても最も効果の高いものの一つです。早い実用化・実現化に向け今後の取り組みをお尋ねします。

【答】「電気事業者による新エネルギー等の利用に関する特別措置法」が施行され、風力、太陽光といった新エネルギーの利用に組み込むこととなっており、かつ福栄地域において風力発電について調査検討をされていますが実現には至らなかつた経緯があります。現在では農業用水路を活用した発電については関係する法律も整備され、また発電機の技術も進歩していると聞いています。他の市町村での取り組み事例があれば調査研究したいと考えます。



萩市旭農林漁業者等イベント広場

旭地域(佐々並・明木)のスポーツ施設の整備

【問】明木地区イベント広場の駐車場が、年々利用者の増加によりスペースが大変狭くなつてきています。今後、20〜30台程度の駐車場の拡張工事を実施されるお考えはありませんか。また、佐々並地区山村広場のアスファルト舗装について、総面積においてもわずかなものですが、実施される考えはないかお尋ねします。

【答】イベント広場の利用が増加していることは、望ましいことです。しかし、駐車場の拡張については、急斜面で法面が高いために実施は難しく、多数の人が集まるようなスポーツ大会については、近くの墓地や小学校の駐車場を、また総合事務所のマイクローバスをシャトルバスとして利用するなど工夫して対応します。山村広場の駐車場の舗装については、雨天時の使用は限られており、当面は現状のまままで対応していただきたいところです。



世良眞名夫
(誠風会)

国体を控え、阿武 選手の偉業を讃え て、国体の高揚を

【問】子ども達は「大きくなったらオリンピックに出て金メダルを獲る」という『夢』を持って、日々の稽古に励んでいます。その目標は、『アテネオリンピックの金メダリストの阿武教子さん』です。三年後に山口国体が開催され、萩市が柔道会場になることから、国体の高揚と併せて、阿武選手の偉業を讃えての紹介コーナーの設置を。

【答】国体の高揚については、阿武教子さん記念の品の提供がいただけるというのであれば、ウエルネスパークの武道館または萩市民体育館で展示をしてみたいと考えています。どのようなものがいただけるのか分かりませんが、国体の高揚につながる紹介コーナーとして検討していきたいと思えます。



萩市近郷少年柔道大会風景

消防の広域化は

【答】消防の広域化は、都市部の発想であり萩市にはそぐわないものであると考えます。県と市長会との意見交換の場でも県の一方的な説明に終わり、合意はできていません。そのため、市長会として県に要望書を提出しました。萩市は合併により消防の広域化を果たしており、消防行政については市がしっかりと責任を持って行っています。どうしても広域化を図るといのであれば、現在の各消防本部の機能を残した緩やかな県一体制が望ましいと考えています。

【問】県は、平成二十四年までに県内十三本部を四本部とし、将来的には一本部を目指し、「消防広域化推進計画」を策定されています。市民の『安心・安全を第一』に守ることができると、広域化によって消防体制の基盤の強化が心配です。

消防署と消防団の共同によって火災や災害から『住民の命と財産』を守っていますが一層の連携の強化を。



近江郁宣
(緑風会)

地域間（旧市町村間） 連絡網の整備について

【問】萩管内の国道191号線は、事故や火災発生時には、住民生活に多大な支障を来します。大井から福井吉田を経て三隅・萩道路に繋がる幹線道路の建設が不可欠だと思います。また、川上白馬く霧口間や、川上立野くトンネルを掘り最短

で結ぶ自転車道の備わった道路が必要と思いますが、考えをお聞かせ下さい。

【答】国道191号は、大井橋、中小畑のR45のカーブ等、幹線道路として問題があり、迂回路も無くバイパスが必要です。大井く吉田を結ぶ路線は萩三隅道路椿ICから繋がる萩東道路としての整備を、議会とともに国に対し引き続き要望していきま

す。また、トンネルの整備については、大変な費用がかかることもあり、県も財政が厳しい中、萩有料道路の無料化、また萩川上線の整備に努力をされており、難しい状況にあります。



観音院の観音堂

観音院の観音堂の 文化財指定について

【問】藩政の昔より、玉江地区の海の守り観音として崇められてきた観音院の観音堂は、萩市の宝です。現在、屋根部分が破損しており、このまま放置すれば修復が不可能となります。修理には多額の費用が必要であり、関係者の負担は多大なものとなります。文化財に指定し、保存を図ることはできないものでしょうか。お尋ねします。

【答】玉江の観音院は九世紀に創建、江戸時代に再建されたと伝えられ、隣接する観音堂は萩を代表する景観の一つであり萩の宝といえます。地元では現在、老朽化した観音堂の修理について色々議論され、修理に向けた取り組みをされています。

市としては、本年十一月に施行された歴史まちづくり法に基づく補助制度を活用して、観音堂の修理に対する支援をしていきたいと考えています。今後、関係者の方々と協議、相談して進めていきたいと思えます。



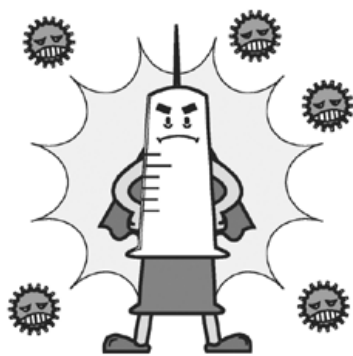
江原任子 (公明党)

妊婦検診の公費負担拡充について

【問】妊婦健診は①正常な妊娠の経過を確認②ハイリスク妊娠の早期発見③妊娠中に発症する合併症などの予防④胎児異常の有無の診断などの妊婦や胎児の健康を守るために大切な役割を担っています。国でも健診の重要性から14回まで公費負担拡充が図られました。萩市においても現措置分に加え無料健診への先進的取り組みのお考えは。

【答】萩市の現行の妊婦健診は6回分を助成し、二十年度から第一回目の内容をより充実し、子宮がん健診を同時実施、超音波検診は6回全て実施しています。里帰り出産については医療機関と委託契約が困難な場合、償還払いで助成などの工夫をし住民の受診機会の確保など不測の事態が生じないよう環境の整備も図っています。回数拡充

も考えていたところで、国の施策で財政措置されることになり、具体的な内容が示されれば速やかに対応していきます。



肺炎球菌ワクチン予防接種事業の助成について

療費高騰の抑制ともなる接種助成の先進的・積極的取り組みを。

【問】日本人の死因の第四位が肺炎となつています。特に高齢者の罹患率が高く疾病予防として、1回の接種のみで免疫効果が持続する肺炎球菌ワクチン接種が注目され、公費助成による実施自治体が増えています。「糖尿病」や「腎不全肝機能障害」など基礎疾患のある患者は、肺炎に罹りやすく医療費高騰の抑制ともなる接種助成の先進的・積極的取り組みを。

【答】肺炎球菌ワクチンは八年前までは医師ですら知らないことでしたが、マスメディアで取り上げられワクチンを希望する高齢者が増加しています。

近年、風邪や発熱に対し抗生物質が多用され、効きが悪い耐性菌が増加し減少していた肺炎の死亡数が増加に転じています。肺炎球菌ワクチンの効果・効能がどういふ状況なのか、先進地の状況や専門家等の意見を聞きながら、費用対効果なども併せて諸々の角度から早急に研究、検討していきます。



藤田克弘 (緑風会)

陶芸の村公園整備について

【問】陶芸の村公園整備については、厳しい財政状況下、最小限の機能を有した整備に留めべきであると思えます。しかし、この計画の事業期間が平成二十年度までとなつているため、事業期間を延伸して公

園整備を継続していくことになり、課題が山積している中、今後どのような整備計画をお考えなのかお尋ねします。

【答】今年三月の特別委員会の報告を踏まえ、民間の意見を取り入れた計画見直しを行うため整備検討会を立ち上げ内容を検討しています。経費の削減を図り、陶芸をテーマにモニユメントや登り窯、陶板を使った園路等を整備し、春は桜、秋は紅葉と四季折々の季節を感じられる景観と眺望を確保した公園を計画しています。

また、明治維新館(仮称)の建設は維新一五〇年を目前に引き続き県へ要望して行きます。



陶芸の村公園

萩市の公共交通機関が抱えている課題と今後の取り組みは

【問】過疎化や高齢化が進む中、公共交通による移動手段の確保は喫緊の課題です。

地域間のサービス格差がある中、地域が抱える公共交通の問題は、みんなが連携・協働して考える必要があります。

「まあーるバス」や「ぐるっとバス」等の公共交通が抱えている課題と今後の取り組みについてどのようにお考えか尋ねます。

【答】公共交通については、合併の際の至上課題であり、特に中山間地域における高齢者の皆様の交通手段の確保は重要な課題です。公共交通の維持に係る経費は年々増加しています。大きな財政負担を伴っても維持していくことが必要と考えますが、できる限りの負担もお願いしたいと思っています。今後、関係住民や関係機関等の意見等を聞きしながら、住民の交通手段の確保を念頭に、なるべく財政的な負担を伴わないような交通システムを考えていきます。



横山 秀二
(新志クラブ)

河川環境の悪化対策と阿武湖の湖水面活用と観光は？

【問】河川環境の変化はますます顕著になってきました。阿武川のオオカナダ藻等水面は色とりどりです。水質基準を満たすとは言え、それ以上の変化を起こしていると考えられます。河底の浄化、流入水の広域での対策について協議検討のお考えは、また、ダム湖のPRとして、噴水の設置や、遊覧船など観光開発はできませんか。

と連携を深め、ダム管理者に対してフラッシュ放流、空気揚水筒設置をお願いします。遊覧船運行については国体開催までに実施できるよう検討します。



川上ダム湖 (阿武湖)

萩市の(24時間)救急医療の現状と課題について

【問】萩市の365日24時間救急医療の体制は長い歴史の中で培われてきた、全国にも比類なきすばらしいものです。この体制が維持されているのも医師団病院など多くの方々の尽力にほかなりません。しかし医師の方々の高齢化等、多くの問題を含み、限界になりつつあります。

今後の維持と協力に対する考えをお尋ねします。

【答】現在の萩市の救急医療体制は関係各位のご努力のお蔭です。すばらしい体制が整備されています。しかし、全国的な医師不足、看護師不足、また市内の医療機関の医師の高齢化などから現在の体制維持は難しい状況にあります。今後も市民の方々が安心・安全な医療が受けられるよう関係機関と協議し、救急医療体制の整備・充実に努めたいと思います。



杉山 浩司
(政和会)

市長の教育予算に対する基本的な考え方をお尋ねします。

【答】かつての三見の校舎新築時の寄付に係るご質問ですが、学校施設に本来必要なものは、PTAで寄付される必要はありません。例えば、普通基準外のものや立派な絵画等の寄付等はあるかもしれませんが、学校教育に通常必要なものをPTAから寄付される場合は、ご相談いただきたいと思います。

教育予算に対する基本的な考え方

【問】三見小中学校建設当時、教育委員会より「体育館ステーション^{とんちやう}帳などは、今まで地域の方々による寄付で設置されていますので予算措置はしない」旨の話がありました。誤った考え方が、あたかも当たり前のようになっているように思われます。



整備された椿西校区の街灯

通学路の安全確保について

【問】平成十六年十二月議会、椿西小通学路安全対策についての質問に対し、当時の教育長は「学校周辺に街灯を設置する方向で検討する」市長も「通学路の安全確保は、最重要課題に考えているので検討する」としています。大井、越ヶ浜、三見からも同様の要望が出されていますが回答が一八〇度違うのはなぜですか。

【答】旧椿西小学校の時に、学路への街灯設置の要望があり、新校舎建設に合わせ街灯を設置しました。この通学路は、学校周辺で市営住宅への至近の農道で、特に危険が感じられたため街灯を設置しました。学校周辺にある通学路は、各町内の要望も含め、何とか工夫していきたいと思えます。

しかし、旧町村も含め全ての通学路に街灯をつけるのは難しいので、集団登下校で安全確保の工夫をお願いしたいと思います。



齊藤 眞治
(民主党)

萩市民病院の 改革プラン策定に ついて

【問】財政健全化法および公立病院改革ガイドラインによる、萩市民病院の改革プラン策定への基本姿勢を伺います。

①山口県地域医療計画における萩市民病院の位置づけは。

②北浦医療圏域の萩市民病院の果たす役割、診療科目、分担すべきことへの認識は。

③プラン策定への職員の間わりと情報の共有化、公表時期は。

【答】①平成十九年度に急性心筋梗塞の急性期と、へき地医療支援を担うこととされ、今年度には、がんの一部と救急医療、小児医療を担う見込みです。②全国的な医師不足等によって医療環境が激変していますが、圏域をあげての医療連携体制の構築等の中で自院の役割を全うします。③改革プランに求められる公立病院の使命、医療の質、

経営効率化等は、常に職員が検討している課題です。プランの公表は年度末あるいは来年度当初の予定です。



萩市民病院

力事業所登録制度および事業所への支援措置は。

【答】消防団の資機材は更新年数を設けて計画的に配備するとともに、日々の点検整備により、性能の維持に努めています。

火災報知器の悪質販売対策については、消防職員等が被害調査等に当たり、被害防止のため、防災メール等で周知しています。低所得の独居高齢者等への配慮は社会福祉協議会を窓口として対応できないかと考えています。消防団員の確保については、来年度から消防団協力事業所表示制度を設け積極的に団員の確保に努めていきます。

消防行政における「安心・安全」への配慮について

め、の、団員確保策としての、協

【問】消防行政の「安心・安全」への配慮についてお尋ねします。

①各消防団への機器・器具の計画的な整備は。

②火災報知器・警報器への悪徳商法対策および社会的弱者や低所得者への支援、配慮策は。

③国民保護計画の消防機関連立のた

可決された議員提出議案

市議会会議規則の一部を改正する規則

これは、地方自治法の一部改正に伴い、議員活動の範囲を明確化するため、議案の審査又は議会の運営に関し協議又は調整を行うための場(全員協議会)に関する規定を追加するほか、所要の改正を行うものです。

萩市観光議員連盟「要望書」

平成20年12月17日

萩市長 野村興児 殿

萩市観光議員連盟
会長 齊藤眞治

- ①「史跡萩城下町」(城下町・御成道エリア)での「路上禁煙」指定について
- ②離島の振興と観光開発の促進について
- ③萩時代まつりのあり方について
- ④各地の名勝・旧跡の連携及び新しい観光ジャンルの創出と活用について
- ⑤集客のための交通網の整備について
- ⑥おもてなし観光の徹底について
- ⑦萩市及び近郊の8ヶ所の「道の駅」を活用した萩観光の促進について
- ⑧萩魚まつりの渋滞緩和について
- ⑨新萩観光地として川上ダム湖に遊覧船の配置について



平成20年10月3日萩市観光議員連盟清掃ボランティア
(見島ジーコンボ古墳群前の海岸)

市民一丸となって産廃処分場建設に反対しましょう!!

萩・福栄 水といのちを守る会主催の『11・15産廃講演会』に柴田保央委員長が出席しました。

平成20年6月に市民の積極的な反対運動により、事業者が撤退をした水俣市長・宮本勝彬氏（産廃阻止！水俣市民会議会長）を招き産廃講演会が開催され、討論会に産廃建設問題調査特別委員会・柴田委員長がパネラーとして出席しましたので報告します。

＝発言の概要＝

旧福栄村の地域経済の活性化につながるとして同意したゴルフ場建設用地が、産廃最終処分場建設用地となったことは、協定書（旧福栄村と事業者との間に交されたもの）の約束（目的外使用）に対する信義違反である。萩市議会としても羽賀台に建設予定されている産廃処分場建設が、市民にとって大変な迷惑施設であることから断固反対していく。この施設に対して、水俣市の中学生が公聴会で発言された内容で「大人だけのみならず若者の反対運動への参加が大事である」との発言が紹介されたが、全く同感である。萩市においても、市民あげて「建設反対に向けて団結されることを要望するとともに、最後まで頑張りましょう」と発言しました。



12月4日に「全員協議会」が開催されましたので内容をお知らせします

萩有料道路の早期無料化について

平成4年3月に開通した「萩有料道路」は、市民生活や地域経済活動を支える重要な路線であることから「無料化」への要望が強くなっています。そこで、平成22年（国体開催一年前）の無料化に向けた県との調整内容、明木側からの右折レーンの新設などが説明されました。

萩市歴史的風致維持向上計画（案）の概要について

歴史まちづくり法（平成20年5月23日公布、同年11月4日施行）は、歴史的風致を維持向上するためのまちづくりを国が積極的に支援し、個性豊かな地域社会の実現を図り都市の健全な発展及び文化の向上に寄与する目的で制定され12月補正予算事業を含めた概要が説明されました。



萩市議会議場

議会用語 Q&A



定例会における議員の一般質問は、議会召集の告示日の2日後の正午までに、議長に対して「通告書」を提出しなければなりません。発言順位は抽選により決まります。質問時間は60分（答弁含む）以内とされ、発言回数は3回までと申し合わせにより決定しています。議会改革として質問時間、発言回数、発言場所（対面方式）について検討がなされています。

Q

議員の発言の手続きとは？

A

定例会における議員の一般質問は、議会召集の告示日の2日後の正午までに、議長に対して「通告書」を提出しなければなりません。発言順位は抽選により決まります。質問時間は60分（答弁含む）以内とされ、発言回数は3回までと申し合わせにより決定しています。議会改革として質問時間、発言回数、発言場所（対面方式）について検討がなされています。

審査の概要をお知らせします

員 会 室 だ ず ! ●●●

総務

歴史まちづくり法の成立により…

総務常任委員会は、平成二十年度一般会計補正予算（第3号）ほか、議案四件を審査しました。

一般会計補正予算9億8613万円追加

歴史的環境形成

総合支援事業

1億2433万円

○萩城跡外堀水質浄化

対策事業

手法及び水質浄化の効果について質疑があり、概要としては、指月川沿いに揚水ポンプを設置し、指月川から日量約143トンの水を外堀へ放流し、「流れ」をつくることで、防臭及び浄水効果を図るもの。特に重要な景観地区でもあり、景観にマッチした清らかな流れになるよう十分な検討のもと進めるように要望。

また、生活雑排水による水質悪化も懸念されることから、周辺地区の水洗化の促進等、下水道建設課とも連携しながら一体的な推進を図っていくとのこと。

○渡辺蒿蔵旧宅

整備事業

平成十六年二月に建物と土地の一部の、ご寄付を受け、今回残りの土地を萩市

土地開発基金から買い戻すと共に、修理工事の実施設計を行うもの。整備後については、渡辺蒿蔵に関する資料展示や施設の一般公開など旧宅の利活用に努めるとともに、萩八景遊覧船との連携による来場者の利便性向上についても検討。

○藍場川整備事業

県立萩美術館裏を流れる藍場川両岸の老朽化した石垣を改修し、県事業の萩陶芸展示施設建設との一体整備として親水護岸を兼ねた遊歩道の整備により快適な歩行空間を創造するもの。

護岸の歪み要因について、樹木の根の張り出しが影響していると考えられ、施工方法について質疑があり、強度が保たれる工法で行うとのこと。

○堀内鍵曲道路

整備事業

市道南の総門指月線のうち未舗装区間である堀内地区の鍵曲部分を、220m

にわたり土系舗装による整備を行うもの。

むつみ地域 強い農業
づくり交付金事業

2640万円

二十年を経過した、むつみライスセンターの大型穀物乾燥機を更新することへ助成をするもの。

委員から農家への具体的なメリットの有無、また実際に食料生産に携わる個々の農家への直接的な支援について質疑が行われました。燃油高騰時に際し、農家が負担する利用料への影響が回避できること、また作業の円滑化が図れるとのこと。農家個々の支援では無く、担い手を集団化、或いは組織化することで農業者の延命化を図ることを基本とし、基幹施設への助成をしながらコスト低減を進めることにより、それを利用する農家への間接的な支援を図るとのこと。

小学校・中学校給食費
補助事業

646万9千円

現在の給食単価と今後の給食単価について質疑があり、現行給食単価は合併前



渡辺蒿蔵旧宅

のもので、旧町村の調理場ごとに差異があり、新年度以降については、今後食材価格の動向を見ながら、給食単価を統一する方向で検討すること。

萩市市民活動センター

平成21年3月オープン

これは、萩市市民活動センターの設置に伴い、条例を整備するもの。センター使用に際し、容易に情報が入手できるよう、ワークスペースやミーティングルーム等へのインターネット利用の環境整備について質疑がありました。

当面インターネット閲覧コーナーのみの利用を考え、

パソコン一台を設置し、市民活動団体、及び一般市民の使用の状況、要望等を踏まえ必要に応じ検討していくとのこと。多目的スペースの使用形態については、自由に出入りできるオープンスペースとして開放するもので、特に占有を希望する場合は、事前の申請により可能であるとのこと。

ここは常任委

農業委員会を統合！ 経済建設

萩市東農業委員会及び萩市西農業委員会を廃し、萩市農業委員会を設置することに伴い条例を制定するもの。条例では委員の定数を農業委員会等に関する法律に定める定数基準の上限である30名とするともに、特定の地域に委員が偏ることのないよう農地面積、農

業者数を基に6つの選挙区を設け、その区域は従前の区域を引き継ぎ、選挙区の有権者数の按分により委員数を定めたとの説明。また萩市農業委員会の設置に伴い「萩市小作料協議会条例」「萩市職員定数条例」及び「萩市報酬及び費用弁償条例」の一部を改正するもの。

東・西農業委員会を統合

委員定数30人

経済建設常任委員会は、萩市農業委員会の選挙による委員の定数等に関する条例ほか、議案10件を審査しました。

新型インフルエンザに対応 教育民生

教育民生常任委員会は、平成20年度萩市国民健康保険事業（事業勘定）特別会計補正予算（第1号）ほか、議案6件を審査しました。

人工呼吸器と 防護服を整備

病院事業会計では、新型インフルエンザの大流行時のために、病院の体制を充実する予算が提案されました。マスクやゴーグル、ガウン、グローブなど個人防護服の購入と人工呼吸器およびその付帯品の購入に500万5千円が計上されました。【問】県の補助金が%の割合で333万2千円となっています。市民病院の一般財源167万3千円が加えられているのはなぜですか。【答】人工呼吸器を標準のものにします。医療の安全を考えると、現在備えている機種と同じものにするこ

とによって、誤操作を防ぐことができません。補助基準額が決まっているので超過した額は市の負担になります。個人防護服は補助基準額と見積り額が違わないため補助基準内で収まります。

出産育児一時金が増額

国民健康保険条例の一部改正は、出産育児一時金の額35万円に3万円を上限に加算するものです。産科医療保障制度の導入による掛け金が医療費に加算されることから、その負担軽減を図るものです。【問】国会で審議されている一時金引上げの先取りですか。【答】違います。09年1月1日以降の出産から導入される産科医療保障制度の掛け金分を加算するものです。

要介護認定制度の見直し

介護保険事業では、介護保険システム改修に要する130万2千円が計上されました。【問】どんなところを見直すのですか。【答】認定調査の項目を82から74にし、古くなったモデルを見直し、実際の介護の時間を反映させます。また、これまで二次判定で行っていた要支援か要介護Iの判定をコンピュータによる一次判定に盛りこみます。さらに二次判定で一次判定を変更する場合の参考資料を4つから1つにし、要介護認定等基準時間の行為の区分ごとの時間だけにすることなどです。

市道路線の認定

県道萩三隅線のバイパスが整備されたことに伴い、県道の一部2517mを市道蔵本明石線として認定するものです。委員からは移管される道路の補修等の状況について質疑が交わされました。

移管に際しては、整備・補修後に受入れをするようにと委員から要望がありました。



市道に認定された蔵本明石線

平成20年度12月補正予算の概要

■ 一般会計

1、補正予算額

(単位：千円)

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
29,396,919	986,138	30,383,057

2、歳出予算の主なもの

(単位：千円)

費目	事業名	補正額
【一般管理費】	◎職員退職手当基金管理事業 定員適正化計画（平成17年度～平成26年度）による10年間における定年、勸奨等職員の大量退職に伴う退職手当の財源を確保するため、平成19年度に策定した積立計画に基づいて職員退職手当基金へ積立を行う。	168,000
【財政管理費】	◎財政調整基金管理事業 地方財政法第7条の規定に基づき、前年度の純繰越金の2分の1を下らない額を財政調整基金へ積立てるもの。	50,000
【企画費】	◎世界遺産登録推進事業 山口及び九州の6県11市で共同提案した「九州・山口の近代化産業遺産群」が文化庁の世界遺産暫定一覧表に掲載されることが決定した。今後さらに関係自治体との連携を図るとともに国内外の専門家の協力を得て十分な検証を積み重ねながら世界遺産登録への推進準備を進めるための経費を計上する。	1,422
【障害者福祉推進費】	◎障害者自立支援法円滑施行特別対策事業 ①ケアホームの重度障害者支援体制強化事業補助金 法指定共同生活介護事業者に対して重度障害者の支援に要する費用を助成することで、重度障害者の支援体制を強化する。 ②相談支援充実・強化事業補助金 障害者に対し障害者福祉施策に関する情報をきめ細かく周知するために行う事業等について助成することで、地域の相談支援体制の充実・強化を図る。	2,239
【農業振興費】	◎強い農業づくり交付金事業（原油高騰対策特別枠） むつみ地域内のライスセンターにおいて、 ^{もみ} 籾乾燥用機械の燃油使用量を20%以上低減する省エネルギー型乾燥調整施設への改良事業に対して助成を行うことにより、原油高によるコスト上昇に対応でき、環境に配慮した生産体制の構築を図る。	26,400
【道路新設改良費】	◎堀内鍵曲道路整備事業（歴史的環境形成総合支援事業） 萩市歴史的風致維持向上計画に基づく施設整備として、市道南ノ総門指月線のうち未舗装区間である堀内地区の鍵曲部分を土系舗装（天然土）による整備を行う。	14,000
【河川改良費】	◎藍場川整備事業（歴史的環境形成総合支援事業） 萩市歴史的風致維持向上計画に基づく施設整備として、県立萩美術館裏を流れる藍場川兩岸の老朽した石垣を改修することにより、現在の歴史的景観を保存するとともに、災害の未然防止を図る。また、県事業の萩陶芸展示施設建設との一体整備として親水護岸を兼ねた遊歩道の整備により快適な歩行空間を創造する。	43,000
【小学校保健体育費】	◎小学校給食管理事業・中学校給食管理事業 学校給食用の食材等の価格高騰により、現行の給食単価では栄養価のある給食を児童・生徒に提供することが困難となったために給食費の値上げを実施せざるを得なくなり、保護者の急激な負担増の軽減を図るため、暫定措置として緊急に支援を行うもの。 なお、補助については、小学校、中学校それぞれの統一単価と現行の給食単価との差額に対して行う。	6,469

費 目	事 業 名	補正額
【中学校 建設費】	◎萩東中学校屋内運動場耐震補強事業 学校施設の耐震化事業への取り組みを加速させ、生徒の安全な教育環境を確保するため、耐震補強設計が完了した萩東中学校屋内運動場の耐震補強工事を実施する。	237,222
【文化財 保護費】	◎歴史的環境形成総合支援事業 萩市歴史的風致維持向上計画に基づく施設整備として、札幌跡整備事業、萩城跡外堀水質浄化対策事業、渡辺菫蔵旧宅整備事業に着手する。	67,330

■ 特 別 会 計

1、補正概要

今回の補正は、主に人事異動に伴う職員給与費の調整によるものです。

2、補正予算額

(単位：千円)

特 別 会 計 名	補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
土地取得事業	16,500	754	17,254
国民健康保険事業（事業勘定）	7,673,000	△5,199	7,667,801
国民健康保険事業（直診勘定）	424,700	△973	423,727
後期高齢者医療事業	870,000	102	870,102
介護保険事業（保険事業勘定） 平成21年4月からの要介護認定制度の見直しに伴い、介護保険システム並びに要介護認定支援システムの改修等を行う。	5,638,251	3,915	5,642,166
介護保険事業（介護サービス事業勘定）	125,700	△7,951	117,749
簡易水道事業	464,500	△4,968	459,532
公共下水道事業	1,609,800	△9,544	1,600,256
特定環境保全公共下水道事業	95,500	1,447	96,947
農業集落排水事業	770,400	3,212	773,612
漁業集落排水事業	705,300	1,066	706,366

■ 病院事業会計

1、補正概要

国の総合経済対策一次補正予算により新型インフルエンザ大流行時における適切な医療の確保を目的とした新型インフルエンザ患者入院医療機関設備整備事業の実施及び人事異動等に伴う職員人件費の調整によるものです。

2、補正予算額

(単位：千円)

	補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
収益的支出	2,514,052	△17,694	2,496,358
資本的支出	294,337	3,551	297,888

■ お知らせ ■

10月15日号の14頁の就農円滑化対策事業の記事の内容と掲載した写真は異なります。



田万川
地域

スポーツの集い



川上
地域

ふるさとまつり



萩
地域

山口福祉文化大学喜福祭



須佐
地域

幕末体験育英塾



むつみ
地域

マツタケ狩り



旭
地域

防火パレード



福栄
地域

育児ふれあい体験学習

つれづれなるままに

いまちとは成り得ません。「生活が第一」を理念とした施策を執行することが大切です。今年からが萩市にとつての正念場となると思います。

▽「流行語がその年の世相を表す」と言われる所以から、「アラフォー」「グー」のように、意味は不明だが、使われた場面を思い起せば納得させられます。さて、皆さんの二〇〇九年の流行語はどのような言葉でしょうか。(S)

流行語(はやりことば)

▽その年の世相を表わす一つに『流行語大賞』があります。二〇〇八年は、「アラフォー」と「グー」でした。また「私はあなたと違うんです」という言葉もノミネートされたとか。流行語は使用者(発言者)の意図があります。受け取り方には「人生いろいろ」のように違いがあります。私なりの流行語は、「消えた年金」「格差社会」「第二の夕張になるな」という言葉が思い浮かびます。

▽さて、平成大合併が、市民にとって「安心・安全な施策の実行」への期待感を持たせたものであったとすれば、市役所と市民との協働がなければ決して住みよ

市民の皆様、新年おめでとうございます。四人の日本人が同時にノーベル賞を受賞され暗かった世相に、輝く光が差し込み、幸せな気持ちにさせて頂きました。受賞された益川氏が「まるで御伽の国にいるようで夢のようです」とコメントされていました。夢が現実になったと思われていたことでしょうか。夢を追いつつ、努力することこそが、夢を現実にするものだと思わせて頂きました。

- 萩市議会だより編集委員会
- 委員長 木村 靖枝
 - 副委員長 平田 啓一
 - 委員 江原 任子
 - 委員 大村 越夫
 - 委員 岡村 通夫
 - 委員 尾木 武夫
 - 委員 齊藤 眞治
 - 委員 長岡肇 太郎
 - 委員 宮内 欣二
 - 委員 諸岡 皓二

●表紙の説明

越ヶ浜で年の瀬に行なわれる「恵比須講」です。一区から六区までが毎年交代で引受ける、海上安全・叶大漁のお祭りです。もともとは男の子だけのお祭りでしたが御多分にもれず少子化で、女の子や大人も交えて「恵比須」「大黒」「隠居恵比寿」の三体に飾付けをして三組に分かれ、家々を回り祈願をします。

編集後記

市民の皆様、新年おめでとうございます。四人の日本人が同時にノーベル賞を受賞され暗かった世相に、輝く光が差し込み、幸せな気持ちにさせて頂きました。受賞された益川氏が「まるで御伽の国にいるようで夢のようです」とコメントされていました。夢が現実になったと思われていたことでしょうか。夢を追いつつ、努力することこそが、夢を現実にするものだと思わせて頂きました。